

10 吉野山のサクラ

—何と言っても日本一のサクラの山です—

美奈ちゃん、進級おめでとう。いよいよ3年生、これまで勉強していた生活科がなくなって社会と理科の勉強が始まりますね。今年もがんばってください。(この手紙には、3年生では習っていない漢字があるかも知れません。そんなときは弘行兄ちゃんに教えてもらってくださいね)

この前、おじさんは吉野山に花見に行ってきました。日本一のサクラの名所・吉野山です。近鉄吉野駅からすぐ近くの吉野口からロープウェイに乗りました。終点の吉野山までの約3分の空中散歩、これがなかなかの景色です。間もなく見頃というサクラの木を上から眺めることができました。ところで、このロープウェイ、昭和4年3月の開通で、日本で最古のロープウェイだそうです。「こんなところに日本一があったんだ」とちょっとうれしくなりました。終点の吉野山からサクラいっぱいの道を歩きました。

この山のサクラ、約3万本あるそうです。今からおよそ1300年前、役小角(えんのおづぬ)という人が蔵王権現(ざおうごんげん)のお姿をサクラの木に彫(ほ)られたことから、サクラの木が村の人たちに大切にされ、どんどん増えていったのだそうです。

3年生の美奈ちゃんは、理科で植物のことも勉強しますね。この前、おじさんが「サクラの花びらは何枚あるのかな」と尋ねたら、「5枚だよ。校章のサクラといっしょだから」と言っていましたね。ウメやモモなどサクラに似た植物はもちろん、ほかにも花びらが5枚の植物ってたくさんあるのです。花びらが5枚の花調べ、家から学校までの道に

は、どのくらいあるかなあ。観察してみたら面白いと思いますよ。

さて、おじさんは、坂道を登って、蔵王権現がお祭りされている蔵王堂(ざおうどう)に着きました。お参りの人たちでいっぱいでした。



この向かいに吉野山ビジターセンターがあります。訪れた人たちに吉野のことを勉強しても

らうために作られた施設(しせつ)で、権現(ごんげん)さんの大きな足が出迎えてくれました。ここには吉野山の自然や歴史が分かりやすく展示されています。ここを見学してから山を歩くと、吉野のサクラの木と友達になれそうです。

下千本、中千本、上千本、奥千本とふもとから順に咲いていく吉野山の桜は、長い間、花を楽しむことができます。お父さんのお店の定休日と学校のお休みの日が重なったら連れて行ってもらえるのではないですか。

(やまと・平成19年4月号所載)

スポットの案内

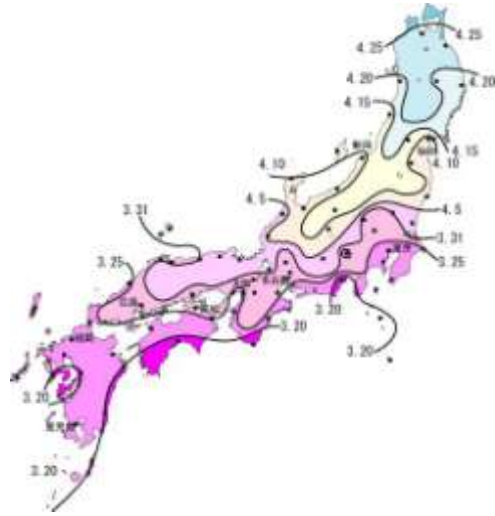
吉野山ビジターセンターは、金峯山寺蔵王堂をモチーフにした施設です。山伏の装束や用具なども展示され、吉野山の自然や歴史を学ぶことができます。

入館料は大人200円、こども100円、休館日は不定ですので、事前にビジターセンター(電話 0746-32-8014)または吉野町役場(電話 0746-32-3081)に問い合わせるといいでしょう。

理科のワンポイント「サクラ前線」

日本の春の花の代表はなんと言ってもサクラでしょう。電車の駅にも沿線の開花状況が掲示され、新聞やテレビでは花だよりが報道されます。

気象庁では、冬の寒さから目を覚ましたサクラの花芽の成長に影響する温度の様子から各地の開花予想を発表します。各气象台では標本木を決め、毎年同じように観察しています。それは、観測の結果をほかの地点と比較したり、同じ地点の長期間の変化の様子を比較したりするために大切なことなのです。そして、



「サクラが咲いた」「満開になった」などの規準がまちまちでは困るので、「生物季節観測指針」というものが作られていて、開花日は「花が数輪以上咲いた状態になった最初の日」、満開日は「約80%以上の花が咲きそろった状態になった最初の日」と決められています。

日本で最初にサクラが開花するのが沖縄地方でここから順に北のほうに進んでいきます。この様子がよく分かるように、引いた線のことをサクラ前線と言っています。気象庁によると、東京で開花してから東北の北部で開花するまでには1か月ほどかかり、この前線の速度を求めると関東地方では1日に約30kmということになるのだそうで

す。

ほかに、ウメ、ツバキ、サルスベリの開花、イチョウ、イロハカエデなどの紅葉、動物ではヒバリ、ウグイス、ツバメ、モンシロチョウなどについて「初めて姿を見た日」や「初めて鳴き声を聞いた日」などを観測しています。次の表はいろいろな現象の奈良での平年の日付を示したものです。

植物名	現象	平年	動物名	現象	平年
ウメ	開花	2月 7日	ウグイス	初鳴	3月 1日
ツバキ	開花	2月12日	ツバメ	初見	3月27日
タンポポ	開花	3月19日	モンシロチョウ	初見	3月27日
スマレ	開花	3月24日	トノサマガエル	初見	4月23日
ソメイヨシノ	開花	4月 1日	シオカラトンボ	初見	5月13日
アジサイ	開花	6月15日	ホタル	初見	6月 9日
ヒガンバナ	開花	9月18日	ツクツクボウシ	初鳴	8月 7日
イチョウ	黄葉	11月 9日	アキアカネ	初見	9月16日
イロハカエデ	紅葉	11月14日	モズ	初鳴	9月18日

あなたも、身近な動植物の観測を始めてみませんか。大人になったとき、「子どもの頃、問題になっていた温暖化がストップしたんだなあ」、そんなことが分かる貴重な資料となっているかもしれません。

※ 開花日や満開日は上に書いたとおりですが、紅(黄)葉日とはその植物を全体として眺めたときに、大部分が紅(黄)色系統の色に変わった最初の日、初見日とはその動物の姿を初めて見た日、初鳴日は初めて鳴き声を聞いた日とされています。